

湯山昇 ゆやま なる 歌人、美術評論家。明治十七年七月七日靜岡縣津津生れ（一八八一）。大正元年相馬御風を知り、また早稻田大学文学部及学生会員となりて中村皇湖、小節等、雑誌『早稲田文學』の編輯に發表を續けず。七年狂詩作家中川柳外の傳に『舊朝報』美術記者となり、十二年浪莊。昭和二年美術雑誌『白日』を創刊（十七年戦時下内務省小達ひよう廢刊）。短歌は御風の指導を受けた。

歌集『浅春譜』（昭和十八年八月二十日自刊）、『赤城野』（昭和二十二年十一月二十五日栢葉社）がある。

